

教育目標の改善と教育経営計画

—— 足利市の教育目標を、本校教育の中にどう位置づけていくか ——

足利市立坂西中学校

<はじめに>

今更贅言を費すまでもない。56年度より、本校もいよいよ教育課程基準の改善の趣旨を体しての新学習指導要領の全面実施に、真正面から取り組んでいくことになる。

このことに関して、移行期間中、私たちの学校では、教育改革の方向性を踏まえて、市教委指定による特別活動の研究を行ってきたが、当面する最大の課題である「教育の質的改善」について、全般的に、その内容や方法をじゅうぶん吟味なし得たであろうか。さらに、教育理念として「生涯教育」という観点から、従来の教育が考え直され、そのための教師の位置と役割というものを、ある程度は自覚し得たであろうか………ということを考え合わせたとき、端的に言って甚だ心許ない感がある。形式的には一応のまとまりをつけ得たものの、どうやら当分の間は、教育の遅効性という隠れみのに依存しなければならぬことが多々ありそうで、この点、腐心せざるを得ない。

余談しておき、移行期間中、大方の学校が試みているように、本校においても、教育目標の改善とそれに伴う教育経営計画の設定を行った。ことは、すべて全体研究の形をとって進め、「学校経営についての研修」を前提として設定したわけであるが、公教育制度のもとに、公教育の目的の実現を期する上で、その基盤として、基準の改善の趣旨を体していくことは当然のことながら、その主眼を、足利市の教育目標を、本校教育にどう取り入れていくかに置いた。

昨今、中学校における、生徒の、戦後第4波と言われる非行化傾向は、社会環境・学校教育・家庭教育の欠陥からの相乗作用の齎らすものではあるが、この対策は焦眉の急にある。しかしこれは、弥縫策的に終始することなく、今こそ学校教育・教育経営そのものの見直しこそ肝要であろう。そのためにも、何よりも惰性慣行を廃した教育計画の確立こそ望まれるのではなからうか。

以下はその、教育目標の改善と、具体化を期していくⅡ教育経営計画と、Ⅰ設定の手順・方法・考え方、ならびに留意点・問題点の概要である。

ここに、発表の機会を得、本市教育の振興上、いささかなりとも参考の資としていただければ幸甚であり、また今後の改善面について忌憚のないご意見・ご指導をお寄せいただけることを期待して止まない。

付記 なお、紙面の都合で、Ⅰの手順等についてはその概略のみにとどまるが、その点ご諒恕いただきたい。

I 設定に関する要件並びに問題点

1 55年度における設定の手順

人間性豊かな、より望ましい生徒の育成を期しての、教育目標の見直しと改善については、54年度より、現校長が意図的に進め、その検討資料として、①地域の実情・②生徒の実態（生活調査）・③従来の教育目標具体化の方策からの教育課題・④教師の意見と願い の4項目が整えられていた。

次いで、55年度において、教育目標の改善と、それに伴う教育経営計画の設定がなされたわけであるが、ここに大きな問題点が介在した。前述の、市教委指定による特別活動の研究第二年度（発表年度）と並行して設定していかなばならないということである。

勿論、研究や改善のために、日常の教育活動を等閑にするというような愚は、仮初にも許されない。加えて、本校において、従来教育目標の設定乃至改善という作業に携わった経験者が殆んどいないということである。そこで、いきおい、目標設定の手順形式として、可能な限り民主型を心がけた寡頭型の行使となり、全体研修として、経営参加；学校経営についての研修を前提とし、デザイン・アプローチを主として進めた次第であり、以下は年度における設定手順である。

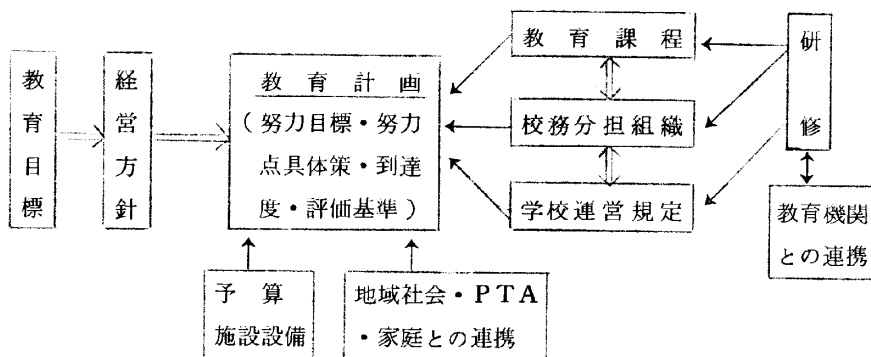
————— 主たる内容と期日 —————

(1) 教育目標の改善と学校経営についての共通理解（現職教育・職員会議）……（4月～5月）

教育目標の改善の意図するところは何か、教育目標の具体化に即しての教育計画の設定とP.D.S.をどう図っていくか。さらに経営の近代化と経営原則の導入、システムの整備に関すること等の共通理解を求めたがその内容項目は次の通りである。

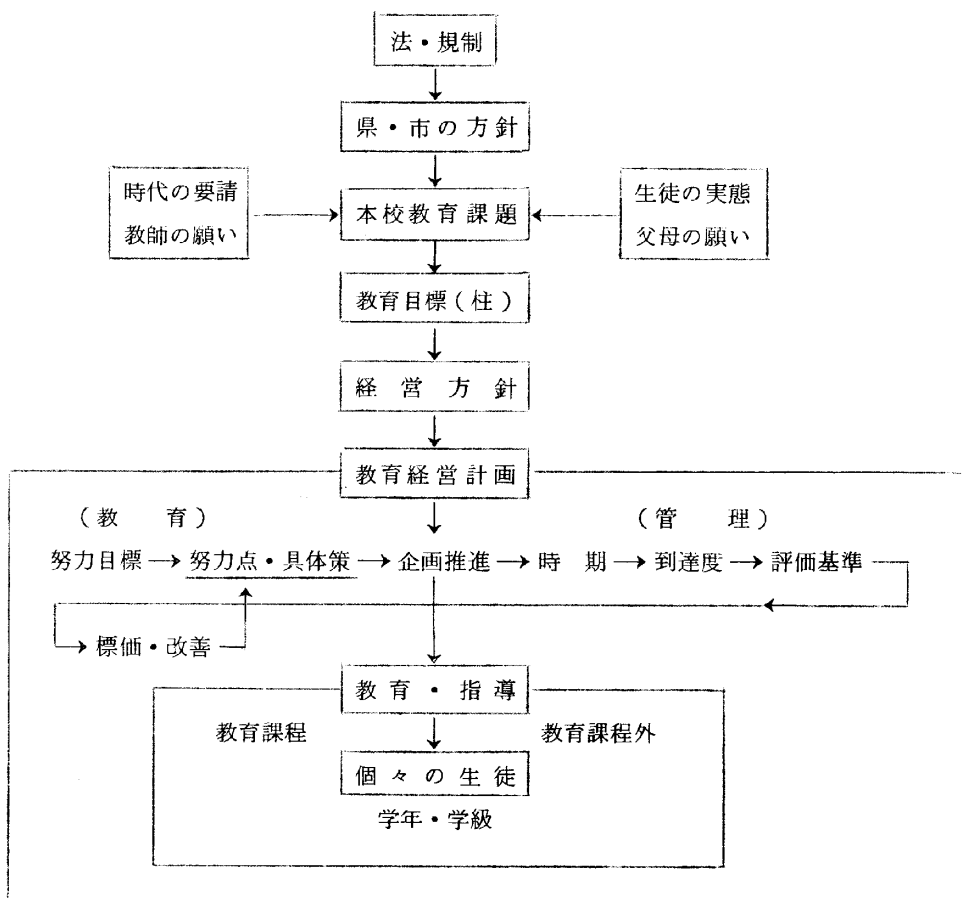
。教育目標（柱）の性格、。設定上の要因、。教育目標の分析、。教育目標とそれを達成するための教育計画並びに努力目標・努力点・具体策設定の基本的態度、。目標値と評価基準、。※ア 設定の基準、。経営の三原則について、。※イ 教育経営最適化の問題。

参考 ※イ. システムの整備



○学校経営の調和と統一を図っていくためには、何よりもシステムの整備こそ肝要であろう。

参考 ※ア. 設定の基準



(2) 資料の収集……………(6月～7月)

本校の教育課題を検討するために、次の資料を整えた。特に重視した、④について、どのような様式でアンケートを求めるかは、試案(教頭)→指導(校長)→検討(運営委員会)→調整確認(職員会議)→校長決裁とした。なお、この資料については、小中教頭研修会で配布したとおりである。

- ① 生徒の実態調査(生活調査)……54年度悉皆調査、宇大コンピューター処理による。
- ② 従来教育目標の具体化の方策の評価からの本校教育課題の検討資料
- ③ 学校経営に関する教師の希望・意見・願いの調査資料
- ④ 父母の願い・教師の願い(アンケート)資料……足利市の教育目標青年期前期における28項目を中心とした悉皆調査で、宇大コンピューター処理による。

(3) 研究課題 足利市の教育目標、青年期前期における28項目を、本校の教育計画にどう位

置づけていくか。……………（夏季休業）

この研究は、それぞれの項目について、関連業務の職員で分担し、教育課題と観点を把握し努力点・具体策・目標値・評価基準の設定案を作成し、教務が全体調整を行ったが、その分担は次の通りである。

◎健康安全な生活態度

- ・スポーツを通して身体を鍛えるとともに、自ら健康管理ができる。（佐々木清晴）
- ・交通安全のための習慣を身につけることができる。（五月女耕一）

◎自主的・創造的な生活態度

- ・日常生活の諸問題に主体的に取り組み、自ら解決していく態度を身につける。（片貝和雄）
- ・自由時間を有効に過ごすことができる。（谷内三千恵）
- ・自己を失わず、自己統制して望ましい生活をしようとする態度を身につける。（野中政治）
- ・将来を見通して計画的な生活を行うことができる。（高下孝子・塚本泰子）

◎知識・技能の習得と活用

- ・基礎的な知識や技能を身につける。（穴水 誠）

◎豊かな心と感謝の気持ちのかん養

- ・自然に対する畏敬の念をもち、感謝の気持ちを育てる宗教心を養うようにする。（三森恭司）

◎主体的な情報処理能力の習得

- ・身の廻りの情報を処理する能力を身につける。（千葉悦雄）

◎社会の一員としての自覚

- ・日常生活の中で、社会的に望ましい習慣や態度を身につける。（長竹公二）
- ・個人または団体の利害だけにとらわれず、全体の調和を図っていくことができる。（篠宮方子）

◎奉仕活動への参加

- ・奉仕活動の大切さを理解し、積極的にその活動に参加する。（芝崎 勝）

◎郷土愛の高揚

- ・郷土の自然や公共物を大切にするとともに、郷土の文化に親しみを持ってその発展に努める。

◎自・他の尊重

（高田哲也）

- ・相手の立場や気持ちを理解し、温い心で人に接することができる。（須藤浩之）
- ・自他ともに尊重しあい、明るい集団生活ができる。（塚本敏夫）
- ・正しい異性の見方を学び、同輩仲間との正しい交際の仕方を身につける。（上田敏子）
- ・性差を理解し、男女の社会的役割を考え、それぞれにふさわしい考え方を身につける。
- ・敬老の精神を身につけて実践できる。（小口 孝）（中山京子）

◎社会的連帯感の高揚

- ・公民としての社会的役割を自覚し、責任ある言動をとることができる。（新井恒雄）
- ・自他及び個と集団に関する認識を深め、社会的義務や責任を重んずる態度を身につける。（前川 晋）
- ・家庭で行う行事に積極的に参加することができる。（青木君江）

◎より高い価値意識の育成

- ・道徳性を高め、道徳的実践を身につける。(長竹 勇)

◎職業観の確立

- ・正しい職業観に立ち、自己の能力・適性に応じた職業選択の能力を身につける。(相場利男)
- ・勤労の尊さを理解できる。(茂木幸子)

◎資源の愛護と開発

- ・資源を愛護して大切にすることができる。(三村 昭)
- ・資源の開発と活用を図り、産業の発展に努める。(松嶋勝治)

◎世界の現状認識と日本人としての自覚

- ・日本及び世界各国に対する関心と理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。

(桑原忠三郎)

◎同和教育の推進

- ・同和問題を正しく理解し、不合理は差別や偏見のない民主的な人間関係をつくることに努める。

(台 育也)

(4) 教育目標(柱)の設定と教育経営上の課題の検討……………(9月)

整えられた資料をもとに、校長より、56年度からの教育目標前文と、教育目標(柱)の設定案が示された。

ここで、再度、浮き彫りにされた、Ⅱの教育計画構造図に示す、本校の教育経営上の中心課題の再検討と焦点化が図られた。この検討は、教頭並びに教務の担当による。

(5) 教育経営計画 原案の設定……………(10月～1月)

本校の教育課題に即応する、足利市の教育目標の関連と位置づけをどう考えていくか。ここで、全職員から提出された、足利市の教育目標をどう取り入れて行くかの資料をもとに、総合的・統轄的な見地から設定原案を作成した。

しかし、この作業に関して、この期間市の指定研究のまとめと重なり、いきおい寡頭型の設定となったのは止むを得ないことで、この点については可能な限り、教務を中心に各担当者と協議して進めるところとなった。

(6) 教育経営計画 原案の提示と検討……………(2月)

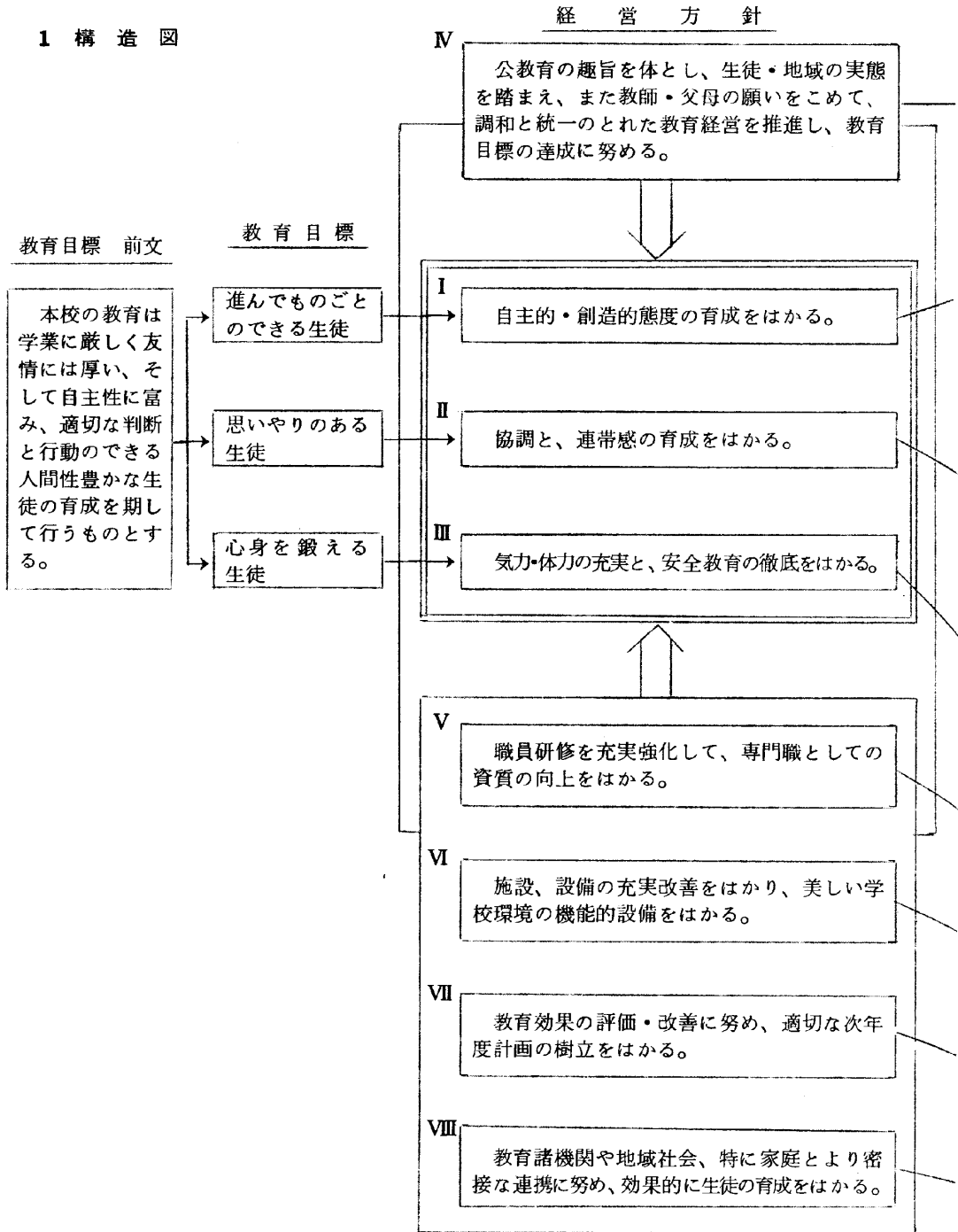
Ⅱに示す教育計画はその原案である。この計画についての調整と、共通理解を図る上で、担当内容に従って4つのプロジェクトチームを作り、プロジェクト会議を開催した。調整は主として到達度と評価基準においたが、会議そのものについては全職員の経営参加意識と体制の強化を図ることとした。ちなみに、改善は3月以降の課題である。

2 問題点・留意点 (紙面の都合でカット)

(備考) 次頁よりの、Ⅱの教育計画については、企画推進・時期・問題点チェック欄はカットされている。

II 昭和56年度 教育経営計画

1 構造図



本校における、教育経営中心の課題

- ○ 調和のとれた教育課程の編成に努める。
- ○ 校務分担の標準化・能率化をはかる。
- ○ 校務運営の円滑化に努め、また職務の明確化をはかる。
- ○ 主体的な学習に関する指導の強化をはかる。
- ○ 学習の能率化と指導の充実改善をはかる。
- ○ 進路指導の充実強化をはかる。
- ○ 学級における協力と連帯感の育成をはかる。
- ○ 個々の生徒についてのより深い理解をはかる。
- ○ 国際社会に生きる日本人の育成をはかる。
- ○ 同和教育の推進をはかる。
- ○ 道徳教育の徹底を期する。
- ○ 生徒活動の活発化をはかる。
- ○ より望ましい学校行事を推進する。
- ○ 生徒指導の充実をはかる。
- ○ 日常における望ましい人間関係の育成をはかる。
- ○ 奉仕活動・勤労精神を盛り上げ、また公共物を愛護させる。
- ○ 健康な日常生活を送る、態度習慣の育成をはかる。
- ○ 体力の増強と、たくましい気力の育成をはかる。
- ○ 安全な日常生活を送る、態度習慣の育成をはかる。
- ○ 性教育を推進し、望ましい発達への適応をはかる。
- ○ 現職教育の強化と、O.J.T.の推進をはかる。
- ○ 教職員のモラルの高揚と、健康安全管理に努める。
- ○ 生徒との触れ合いを重視していく。
- ○ 施設・設備の整備と計画的充実をはかる。
- ○ 美しい学校環境の整備に努める。
- ○ 特に、教職員室と教室の環境整備に努める。
- ○ 教育効果の測定について研究を進めていく。
- ○ 適切な学校評価を実施して、P.D.S.を推進していく。
- ○ より望ましい次年度計画を設定する。
- ○ 教育機関との連携と、OFF.J.T.の効果的な推進をはかる。
- ○ 地域社会との協力提携をはかる。
- ○ PTA・家庭との効果的な連携をはかる。

足利市の教育目標を、本校教育の努力目標として位置づけていく。

2 教育（経営）計画

※印 足利市の教育目標 青年期前期の課題

教育目標	経営方針	努力目標	努力点	実施具体策・内容方法
進んでものごとのできる生徒	I 自主的・創造的態 度の育成をはかる。	1 個々の生徒について、より深く理解していく。	(1) 各種の資料をじゅうぶん整備して、個々の生徒のより深い理解を図る。 (2) あらゆる機会をとらえて、学級担任・教科担任・各領域担当者間で情報交換に努めていく。	家庭環境を把握し、学級経営録を整備して、観察指導に努める。 職員全体で、生徒との触れ合い重視のもとに、特にほめる内容についての情報提供に努める。
		2 基礎的な知識や技能を身につける。 ※	(1) 各教科における指導法や評価の共同研究を推進していく。 (2) 各教科で、基礎的・基本的学習事項の確認を図っていく。	週一時間、教科の研修時間を設定して推進を図る。 ◎年間指導計画作成の時点で、基礎的・基本的事項をじゅう分検討し、共同研修時に確認を図る。
		3 日常生活の諸問題に主体的に取り組み自ら解決していく態度を身につける。 ※	(1) 主体的な学習に関する指導を強化していく。 (2) 生活行動面で、何ごととも積極的に取り組んでいく態度を養成していく。	◎基盤として、学習オリエンテーションを強く推進していく。 とくに、計画学習ノートの点検と指導を強化していく。
		4 自己を失わず自己統制して望ましい生活をしようとする態度を身につける。 ※	(1) 一時的な感情や欲望に支配されないで、自己を統制して自己実現を図らせる。 (2) 将来を見通して、計画的な生活ができるようにする。 ※	スポーツ・学習・読書・趣味等を通して、自己理解を深めさせる。 ◎日記の励行や、日常生活面で目標に基いて（生活委員会）それを達成していく習慣を身につけさせる。
		5 正しい職業観に立ち、自己の能力・適性に応じた職業を選択する能力を身につける。 ※	(1) 望ましい職業観の育成を図る。 (2) 自己の能力・適性に合った職業の選択ができるようにする。	とくに、「進路の学習」をもとに、学級指導の充実を図る。 各種の調査・検査を計画的に実施して、その活用を図っていく。
		6 日本及び世界各国に対する関心と理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚を高める。 ※	(1) 日本の地理や歴史を広い視野から学ばせ、日本人としての自覚を高めさせる。 (2) 世界各国の地理や歴史、文学などの学習で、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めさせる。	関連教科の指導を通して、日本や世界の国々を理解し、国際社会における日本人の役割を理解していく。 学習と併せて、読書や新聞・テレビ等のマスメディアを通して社会の情勢を理解する態度を育てていく。

目 標 値 （ 到 達 度 ）	評 価 基 準
学級経営録をもとに、一人一人のより深い理解を図り善導していくことができる。	<p>A. 学級経営録をよく整備し、観察指導を怠らない。</p> <p>B. 一応前向き姿勢で取り組んだ。</p> <p>C. 努力を怠ったことを反省している。</p>
触れ合う生徒に、一日一言対話をすすめるよう努めていくことができる。	<p>A. 認め、ほめ、励ます姿勢で指導し、効果があった。</p> <p>B. 努力は心がけたが積極的ではなかった。</p> <p>C. 深い理解を図る面で消極的だった。</p>
各教科とも、教科内で話し合いの徹底と研修の充実を図り、教科における目標の達成に努められる。	<p>A. 各教科における指導法等の研究がじゅうぶん行われて、指導に効果が認められた。</p> <p>B. 上記の研究は進められたが、効果については満足できない。</p> <p>C. ややもすると仕事に追われがちで、研究があまり行われなかった。</p>
学習オリエンテーションを中心に指導し、自分の考えや意見を積極的に発表できる。	<p>A. 自分から、学習や仕事など、物事を解決することができるようになってきた。</p> <p>B. 指導を受けると、諸問題に取り組むことができる。</p> <p>C. 指導しても消極性が抜けきれない。</p>
スポーツ・学習・読書・趣味等を充実させ、自己理解を深めながら、計画的な生活ができる。	<p>A. 自己理解を深める努力をしながら、自主的計画のもとに生活ができるようになってきた。</p> <p>B. 教師の指導・助言があると生活できる。</p> <p>C. 指導や助言があっても、自主的な生活がなかなかできない。</p>
進路情報や進路の学習を通して、自己の能力・適性に応じた進路計画や一生を通じた進路を考えていくことができる。	<p>自己の能力・適性をふまえた進路計画が立てられるようになった。（調査）</p> <p>A. 80%以上</p> <p>B. 60%以上</p> <p>C. 60%以下</p>
進んで社会に目を向け、世界の情勢・日本の役割を理解し、国際社会における日本人の立場が理解できる。	<p>A. 進んで社会に目を向け、日本人の立場が理解できる。</p> <p>B. 興味を喚起すれば理解できる。</p> <p>C. 興味を喚起しても、理解しようとしなない。</p>

教育目標	経営方針	努力目標	努力点	実施具体策・内容方法
思いやりのある生徒	II 協調と連帯感の育成をはかる。	1. 同和問題を正しく理解し不合理な差別や偏見のない民主的な人間関係をつくることに努める。 ※	(1) 人間尊重の精神を基盤に、差別をなくそうとする意欲と能力を持つ人間の育成をめざす。 (2) 生徒の発達段階及び地域の実情に即し、各教科・領域等の特質に応じて同和教育の積極的な推進に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとの嫌がることを言わないようにさせる。 ・ひとを、仲間はずれにしないようにさせる。 ・相手の気持ちを大切にさせる。
		2. 道徳性を高め、道徳的実践を身につける。 ※	(1) 自分や周囲をみつめ、望ましい生活習慣の育成を図る。 (2) 社会の一員としての自覚にたって、真の幸福を目指す建設的な生活を心がけさせる。 (3) 日常における教育活動全領域の道徳教育を補充・深化・統合するための「道徳」の充実を図る。	◎日常生活における、挨拶、約束、ルールなどをきちんと守るようにさせる。 ・心のこもった仕事や人との接し方ができるようにさせる。 ・資料を整備し、指導方法を研究し、その技術を身につけていく。
		3. 日常生活の中で、社会的に望ましい習慣や態度を身につける。 ※	(1) 集団活動で、自己の役割をはっきり自覚させていく。 (2) 奉仕的活動に進んで参加する態度を養う。	◎学級会活動と生徒会活動の活発化を図っていく。 ・社会のためになることを行うようにさせていく。
		4. 個人または団体の利害だけにとらわれず、全体の調和を図っていくことができる。 ※	(1) とくに、思いやりの心を育てる。 (2) 学級・生徒会・地域社会の一員としての自覚を高める。	・お互いの立場や考えを理解し、所属感、連帯感を高める学級作りに努める。 ・つねに、全体の調和を考えて行動できるようにさせていく。
		5. 自他ともに尊重し合い、明るい集団生活ができる。 ※	(1) 相手の気持ちになって話を聞き、自分の気持ちもよく伝えることができるようにさせていく。 (2) あたたかい心で人に接していく態度を育てる。	◎学習オリエンテーションを基盤に、つねに望ましい態度を育成していく。 ・友人を大切にさせる。

目 標 値 (到達度)	評 価 基 準
・ひとの嫌がることを言わないことができる。	A. ひとの悪口をいう。 B. 時々悪口をいう。 C. よく悪口を言う。
・ひとを、仲間はずれにしないことができる。	A. 誰とでも仲よくできる。 B. 時々、仲間はずれにした りする。 C.よく仲間はずれにする。
・相手の気持ちを理解することができる。	A. 相手の気持ちが理解できる。 B. 時々相手の気持ちを理解しようとする。 C. 相手の気持ちなど、気にしない。
・挨拶がよくでき、約束やルールを守ることができる。	A. 挨拶がよくでき、約束やルールを守れる。 B. 言われればできる。 C. ほとんどできず、また守れない。
・仕事や人と接するとき、誠意をもって当たることができる。	A. 常に意識をもって当たり、その気持ちが十分感じられる。 B. 仕事や人との接し方が時として物足りない。 C. まだなげやりで、誠意が感じられない。
・内容項目ごとに資料(特に読み物)を整備し、併せて指導法(主題構想と話し合いの組織化等)を研究して授業を進めていける。	A. 指導方法を身につけ、かなり効果的な授業を行うことが できた。 B. ある程度授業に自信を持っている。 C. 適当で、従来とあまり変わらない。
・一人一役の徹底を図り、活発化がはかれる。	A. 自分の役割を自覚し、集団活動に積極的に参加している。 B. 中学生として普通 C. 集団活動に対して、付和雷同的で不まじめである。
・ボランティア活動に進んで参加することができる。	A. 奉仕的活動に進んで参加している。 B. 奉仕活動の意義は理解しているが実践が薄い。 C. 奉仕する気持ちがみられない。
・自分の考えをはっきり言えるとともに他人の話もよく聞き、誤ちはすなおに直すことができる。	A. 主体的に話し合って問題解決が図れる。 B. 指導があれば問題解決ができる。 C. 指導しても、問題解決がなかなか図れない。
・自分の発表や行動で、集団生活でなし得た満足感、充足感を体得することができる。	A. 一人一人が主体的に活動できる。 B. 指導があれば活動できる。 C. 指導してもなかなか活動できない。
・お互いの人格を尊重しながら、楽しい学校生活を送ることができる。	A. お互いにいたわりながら、楽しい生活が送れる。 B. 指導を受けると実行できる。 C. 自己主張が強く、相手を認めない。
・友人同志、励まし合い、助け合いながら、お互いの向上に努めていくことができる。	A. つねに意識をもって当たり、親友を作ることができる。 B. 限られた交友関係の域である。 C. 孤立した生活で、集団にとけこめない。

教育目標	経営方針	努力目標	努力点	実施具体策・内容方法
思いやりのある生徒	Ⅱ 協調と連帯感の育成をはかる。	6 正しい異性の見方を学び同輩、仲間との正しい交際の仕方を身につける。 ※	(1) 男女が人格を尊重して、明るく正しい交際ができる。	・男女が特性を理解して協力的な人間関係を育てていく。
			(2) 家庭との連携を啓蒙的な立場に立って図っていく。	◎学校だよりや学年部会等で、機会をとらえ理解を求めて、協力して正しい交際をさせていく。
		7 勤労の尊さを理解できる。 ※	(1) 日常生活を通して、家庭・学校で自分のできる仕事の役割を自覚させ、遂行させていく。	・家庭で、仕事分担を与えるようにさせ、また学校における積極的な清掃活動の指導を図る。
			(2) 勤労生産的行事や奉仕活動に積極的に参加し、実践する態度を育てる。	・勤労生産的行事や奉仕活動を盛り立て、積極的な参加を図る。
		8 資源を愛護して大切にすることができる。 ※	(1) 公共物を大切に扱わせる。	・特に、清掃用具の扱い、掲示物等の環境整備物をそこなわないようにさせる。
			(2) 所持品を大切に扱わせる。	・所持品には名前をつけさせ、遺失物は届け出をきちんとさせる。
心身を鍛える生徒	Ⅲ 気力・体力の充実と、安全教育の徹底をはかる。	1. スポーツを通して心身を鍛えとともに、自ら健康管理ができる。 ※	(1) たくましい気力・体力の養成を図る。	・各種体育的行事の、よりいっそうの活発化を図っていく。 ◎部活動を通して、健全な精神を養うよう指導に努めていく。
			(2) 健康な日常生活を送る態度・習慣の育成を図る。	・保健計画の推進を徹底させていく。 ・節度のある、楽しい給食指導を推進していく。
		(3) 健康診断結果に基づいて、疾病の予防や早期の治療に努めさせる。 ※	・治療については、診断結果に基づいて治療票を早期に配布し、9月末までには治療を完了させる。(特にう歯)	

目 標 値 (到達度)	評 価 基 準
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活で、相手の立場を理解し、明るい生活をする事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 男女が協力して明るい生活を送っている。 B. じゅうぶんとはいえないが、協力し合っている。 C. 指導しなければ、協力的な行動ができない。
<ul style="list-style-type: none"> ・つねに健全さを求め、不純な異性交遊など絶対にしない。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 家庭も協力的で、男女の交際は健全である。 B. 家庭との連携はじゅうぶんではないが、さして心配ない。 C. 正しい交際から脱する行為がまま見受けられる。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校では、きめられた時間内に、きめられた服装で、清掃に努めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. きめられた時間内に積極的な清掃活動ができる。 B. 指導があれば清掃が徹底できる。 C. 清掃しようとする意識に欠け、強い指導を要する。
<ul style="list-style-type: none"> ・正しい勤労観を身につけ、勤労の尊さを体得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 勤労の尊さや意義が理解でき積極的に参加できる。 B. 勤労の尊さが理解されつゝある。 C. 勤労を惜しみ、意義や尊さが理解されていない。
<ul style="list-style-type: none"> ・落書きがなく、清掃用具等を大切に扱い、掲示物等の整備を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 物を大切に、くふうして使うことができる。 B. 指導すれば、ある程度大切に扱う。 C. 乱暴で、整備に心がけない傾向が残っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・物を粗末に扱わず、大切にきちんと使用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 所持品に名前のつけ落ちがなく、大切に使用している。 B. 指導すれば注意して扱う。 C. 指導しても、なかなか改まらない。
<ul style="list-style-type: none"> ・運動能力テスト、体力検定で2種目以上合格することができる。 	<p>合格度</p> <ul style="list-style-type: none"> A. 2種目以上 B. 1種目 C. 合格なし
<ul style="list-style-type: none"> ・年間保健計画に基いて、効果的な推進がはかれる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 計画に従って保健教育が円滑に推進された。 B. 計画に基いて一応の線で推進された。 C. 計画通りいかない面が多かった。
<ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いなく、きちんとした態度で給食をとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 給食のきまりを守って、楽しく給食がとれる。 B. だいたいきまりを守って給食がとれる。 C. 強く指導しないと、きまりが守れない。
<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の治療率が70%を上まわることを目標に、その達成が図れる。 	<p>治療率</p> <ul style="list-style-type: none"> A. 70%以上 B. 50%～69% C. 50%以下

教育目標	経営方針	努力目標	努力点	実施具体策・内容方法
心身を鍛える生徒	Ⅲ 気力・体力の充実と、安全教育の徹底をはかる。	2 交通安全のための習慣を身につけることができる。 ※	(1) 交通規則を守り、安全な歩行や自転車の使用ができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級指導で「中学生の安全」の指導の徹底を図るとともに、登下校時の交通指導により交通規則の確認を図る。 ・自転車点検、通学状況の確認（ヘルメットの着用）等を通して、交通安全意識を高めていく。
		3 安全な日常生活を送れる態度・習慣を身につける。	(1) 校内施設設備の安全点検を行うとともに、とりわけ廊下の歩行に気をつけさせる。 (2) 緊急時の避難についての心構えや行動を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回施設設備を点検して安全を確認し、常時校舎内での交動面の生徒指導に努める。 ・計画に基いた避難訓練を行い、安全に関する意識を高めていく。
		4. 性差を理解し、男女の社会的役割を考え、それぞれにふさわしい考え方を身につける。 ※	(1) 男女の特色と社会との結びつきについて理解させる。	・男性と女性との相違をよくわからせる。
			(2) 相手の人格を尊重し、明るい交際ができる。	・信頼感を持ち合う友人関係をつくっていく。
経営方針	努力目標	具 体 策		
Ⅳ また教育経営を推進し、教育目標の達成に努める。 また教師・父母の願いをこめて、調和と統一のとれ 公教育の趣旨を体とし、生徒・地域の実態を踏まえ	1. 調和のとれた教育課程の編成に努める。	(1) 教育活動全領域の年間指導計画を作成し、その効果的な指導を期していく。		
		(2) 特に、週指導計画に留意し、各自が担当する教科・領域の適正な管理に努める。		
2. 校務分担の均等化・能率化と、運営の円滑化を図っていく。	(1) 分掌の均等化・能率化を図り、責務分担を明確にして職務の遂行に努めていく。			
	◎(2) スタッフ機能を重視し、職員会議その他を原則として次のとおり設定する。 ア. 職員会議 毎月第1水曜 イ. 学年会 // 第2水曜 ウ. 全体研修 // 第4水曜 エ. 学習指導委員会 毎月第1月曜 オ. 運営委員会 // 第4月曜 カ. 学年主任会 月の第1週月第1校時 キ. 必要に応じて、その他の会議・研修を開催する。			

目 標 値 （ 到 達 度 ）	評 価 基 準
<ul style="list-style-type: none"> ・定められた通学方法を守り、日常生活にも生かせるとともに、交通安全に努めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 生徒一人一人が交通安全を認識し、交通規則を守ることができる。 B. 指導があれば、交通安全に努めることができる。 C. 過半数が交通規則（通学方法）を守れない。
<ul style="list-style-type: none"> ・つねに危険防止に努め、不注意による怪我を起こさない。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 正しい行動がとれ、不注意による怪我がない。 B. 安全に対する行動は一応できている。 C. 配慮がなく危険性を持っている。
<ul style="list-style-type: none"> ・非常事態が起ころうとしても、沉着に避難ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 訓練等、すばやく適切に行動できる。 B. 指導如何で行動できる。 C. 行動が遅く、真剣さが足りない。
<ul style="list-style-type: none"> ・男女の相違を正しく知ることによって、お互いに自覚し協力し合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. まじめに積極的に理解しようと努める。 B. まじめに理解しようとしている。 C. まじめさが足りない。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活で、相手の立場を理解し、明るい交際ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 相手の立場を理解し、協力的に明るい生活ができる。 B. じゅうぶんとはいえないが、協力的である。 C. 指導がなければ、協力的な生活ができない。
目 標 値 （ 到 達 度 ）	評 価 基 準
<ul style="list-style-type: none"> ・各領域とも、適切な年間指導計画を設定し、教育効果の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 指導計画は実態に即して精選が図られている。 B. 年度計画は、一応立てられている。 C. 計画自体に、いまだ検討の余地がじゅう分ある。
<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基いて、適切な週案を作成し、目標管理に努めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 指導内容・指導方法の検討がよくなされている。 B. 前向きな姿勢で取り組んでいる。 C. 内容・方法の検討がまだじゅうぶんでない。
<ul style="list-style-type: none"> ・経営原則に基き、責任自覚と相互信頼にかかわる合理化と民主化の両立をはかっていくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 機能的な調和がよく図られている。 B. ラインスタッフ組織にまだ検討の余地がある。 C. 問題点が多く、改善点が多々ある。
<ul style="list-style-type: none"> ・各会議において、問題の検討分析がよくなされ、妥当な解決策が選定されて推進していくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 明確な目的のもとに、能率的・効果的に開催されている。 B. 民主的だが、合理的・能率的な面に検討すべき問題点がある。 C. 設定されても、取り組みが消極的で効果があまりない。

経営方針	努力目標	具 体 策
Ⅳ	3. 全教職員が、健康・安全管理に努める。	(1) 明るく健康な心身の自己管理に努めていく対策を立て、また交通事故の防止に極力留意していく。
Ⅴ 職員研修を充実強化して、専門職としての資質の向上をはかる。	1. 現職教育を強化し、推進していく。	(1) 専門職としての研修を前提とした研修計画を設定し、職員の自己啓発を図っていく。
		(2) 研修に関する出張・校外勤務・職免等については、つねに生徒に及ぶ教育効果を考えて実践評価していく。
		◎(3) 特に、各教科は週1回の研修を設定し、各人年間1回の研究授業を進める。また新採教員の研修を強く推進する。
	2. モラルの高揚をはかっていく。	(1) 会議や研修を充実させるための時間の確保をくふうし、また有機的な内部報告制度を配慮していく。
		(2) 和して情せずをモットーに、責任自覚と相互信頼を基調とした人間関係を考え、職務の遂行に努めていく。
		(3) 教師自ら、専門職としての自覚のもとに修養に努め、教えつ、学びつ、学びつつ、教える生涯教育に徹するよう努めていく。
3. 生徒との触れ合いを重視していく。	(1) 多くの生徒に、一日一言対話を進める。	
	(2) あらゆる場や機会を生かして、触れ合う生徒との共感交流に努めていく。	
	◎(3) ほめて育てることを基調とし、また善悪のけじめをはっきりさせる教育をしていく。	
Ⅵ	4. 施設・設備の整備と、計画的充実をはかる。	(1) 予算を有効に配分し、学校全体の整備と美化に努める。

目 標 値 (到達度)	評 価 基 準
<ul style="list-style-type: none"> ・ムリやムラを避けて、病気の予防に努め、また事故を起こさないよう厳戒していくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. お互いに、健康管理や事故の防止に努めている。 B. 日常生活は総体的に、可もなく不可もない。 C. 規則正しい生活面で、やゝ不安な面がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・適切な現職教育を計画し、強く推進していくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 計画は適切で、その推進は効果があった。 B. 計画に従って一応の線で推進された。 C. 形式的で、意欲的な姿勢が見られない。
<ul style="list-style-type: none"> ・出張等による研修は、単に復命のみにとどまらず、内容をチェックして全体研修に役立てていける。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 出張等の研修の成果が学校でよく生かされている。 B. 成果は生かされているが個人の域にとどまる。 C. 形式的でさして効果がない。
<ul style="list-style-type: none"> ・時間割に位置づけられた週1回の教科研究会を大切に扱う。また、新採教員のO.J.T.を強く推進できる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 教科研究会は、意欲的によく推進された。 B. 一応実施され、成果はあったと考える。 C. 殆んど実施されず、意欲が乏しかった。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議・委員会会議並びに全体研修等を年間予定に明確に位置づけ民主的・合理的に進めていける。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 時間の確保が適切で、民主的・合理的に進められた。 B. 時間の確保については、まだ検討の余地がある。 C. 未だ、おさなげで形式的である。
<ul style="list-style-type: none"> ・権限の委譲による自己の責任を自覚して職務の遂行に努め、全体で信頼し合い、協調していける。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 職員の間関係は信頼と協力でよく結ばれている。 B. おおむね良好だが、まゝ惰する傾向がある。 C. 人間関係で、まずい面がまだ多くある。
<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人一人が、教師としての自覚のもとに研修を重ね、教師としての自己啓発を図っていくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 分担する教育活動に対して、自信をもって対処している。 B. 自信はないが、日々努力している。 C. さして向上を図っていないことを反省する。
<ul style="list-style-type: none"> ・触れ合う生徒に対して、何らかの形で声をかけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 親愛の情から、つねに声をかけている。 B. 少しでも多く、対話を進めるようにしている。 C. 意識してはいるが、積極的でない。
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の考え方や心情を理解して、指導していくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 生徒の心情をくみとって善導している。 B. できるだけ理解しての指導を心がけている。 C. その面で、積極性に欠けることを反省する。
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の生徒について、欠点をみるより長所をみることに努め、ほめて育てていくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 些細なことでも、つねにほめて指導している。 B. 善悪のけじめはつけさせている。 C. やゝ、放任的である。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校予算の全貌について、全職員の理解を図り、予算を有効に活用していくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 学校予算の概要について理解し、その執行に協力している。 B. 予算の執行と施設・設備の整備は、ほぼ適正である。 C. 予算についても知らない面がきわめて多い。

経営方針	努力目標	具 体 策
VI 学校環境の機能的整備の充実改善をはかり、美しい	1. 施設・設備の整備と計画的充実をはかる。	(2) 現有教材・教具を確認し、教材基準による整備・充実をはかっていく。
	2. 美しい学校環境の整備に努める。	◎(1) 廊下、教室、校庭に、ゴミを捨てさせない。
		(2) 計画を立てて、校庭整地や植樹、学級花壇づくりを行っていく。
3. 特に、職員室と教室の環境美化と整理整頓に努める。	(1) つねに職員室の整頓に留意し、ロッカー、戸棚、机上を整理して美化に努める。 (2) モデル案をつくり、それをもとに教室の環境美化について、各学級ごとに取り組んでいく。	
VII 次年度計画の樹立を評価改善をはかり、適切な	1. 教育効果の測定についての研究を進めていく。	(1) 教育活動の改善をはかっていくための、合理的な評価について検討していく。
		(2) 主要な教育活動について、その効果が測定できる様式のあり方を検討していく。 ◎(3) 教育活動全体の総合評価をするための、より適切な組織を設定していく。
2. 適切な学校評価を実施して、P.D.S.を推進していく。	(1) 教育計画を中心に9月と1月に形成的評価、総括評価を踏まえた学校評価を実施する。 (2) 主要な教育活動について、担当者は必ず反省点・問題点を記録し、改善策をたてる。	

目 標 値 （到達度）	評 価 基 準
<p>・現有教材・教具をよく整備し、その充実をはかっていくことができる。</p>	<p>A. 教材基準をもとに、教材・教具の整備充実がよく図られている。</p> <p>B. 整備充実は大体適正である。</p> <p>C. 等閑で改善していかなければならない。</p>
<p>・捨うことより、捨てないことができる。</p>	<p>A. ゴミを捨てない態度が身についている。</p> <p>B. ゴミを見かけたら捨う心構えが身についている。</p> <p>C. 掃除の時以外は無関心である。</p>
<p>・学校環境の整備について、計画による推進を図っていくことができる。</p>	<p>A. 現状把握による実態に即した推進がよく図られている。</p> <p>B. 推進状況はおおむね良好である。</p> <p>C. やゝ整備不足の感がある。</p>
<p>・整理整頓の姿勢を、教師自ら示していくことができる。</p>	<p>A. 机上の整理整頓がよくゆきとどいている。</p> <p>B. 一応整理されている。</p> <p>C. 雑然としていて、生徒に悪影響を及ぼす。</p>
<p>・基準（モデル案）をもとに、各学級ともつねに整備が図っていける。</p>	<p>A. 教室の環境整備と美化は、つねに満足できる状態にある。</p> <p>B. 指導すれば美化に努める。</p> <p>C. 雑然としていて、情操教育の面からもまずい。</p>
<p>・計画、実施、評価のマネジメントサイクルに従っての運営ができる。</p>	<p>A. 合理的なマネジメントサイクルに深って、職務を遂行している。</p> <p>B. 分担業務は適正に遂行している。</p> <p>C. 惰性横行的で反省を要する。</p>
<p>・教育活動は、合理的な評価に努め効果の測定により改善していくことができる。</p>	<p>A. 主要な教育活動は、評価改善が心がけられている。</p> <p>B. 形式的だが、一応試みられている。</p> <p>C. 評価結果が生かされていない。</p>
<p>・評価のための評価に終始することのないように組織が作られている。</p>	<p>A. 適切な組織で、きわめて効果的である。</p> <p>B. 評価は適切だが、改善面に一考を要する。</p> <p>C. 組織そのものが形式的で検討を要する。</p>
<p>・形式的評価、総括評価を踏まえての、効果的な学校評価ができる。</p>	<p>A. 評価結果が各人の教育活動に役立てられている。</p> <p>B. 役立てようと努めている。</p> <p>C. 評価結果が殆んど生かされていない。</p>
<p>・記録をもとにして、次年度の教育活動の計画設定ができる。</p>	<p>A. 業務の遂行を通して、反省点・問題点・改善策を記録している。</p> <p>B. 記録はしているが、改善策の検討はじゅう分でない。</p> <p>C. 慣行で処理している傾向が強い。</p>

経営方針	努力目標	具 体 策
VII	3 より望ましい次年度計画を樹立する。	<p>◎(1) 教育計画達成のための諸計画については、各担当者が改善を踏まえて年度末に設定する。</p> <p>(2) 年度計画は長期計画の一環として設定するように努め、達成期限の明確なプログラムを考えていく。</p>
VIII 効率的に生徒の育成をはかる。 教育諸機関や地域社会、特に家庭とより密接な連携に努め、	1 教育諸機関の連携と、校外研修の効果的な活用をはかる。	<p>(1) 市教委指導主事の要請訪問を密にとり、指導の充実を期するとともに、教育研究所の資料の活用をはかっていく。</p> <p>(2) 命令研修等は、その成果を生徒の教育に生かす配慮をしていく。(復命書は、その内容を記録する。)</p>
	2 地域社会との協力提携をはかる。	<p>(1) 育成会・民生委員会・相談所・警察との連絡を密にとり、また小学校・高校の先生方との連携を強化していく。</p> <p>(2) 地区ぐるみで生徒を育てていく風潮を盛り上げていく。</p>
	3 PTA、家庭との効果的な連携をはかる。	<p>(1) 学年便り、学校便り等を発行して、学校教育を家庭に理解させることに努める。</p> <p>(2) 家庭訪問を密にとるようにし、父母の来校相談を随時行い、また学年部会を盛り立てていく。</p> <p>◎(3) 家庭において、将来を見通して計画的な生活ができるような生活習慣を身につけさせるようにさせていく。</p>

※

目 標 値 （到達度）	評 価 基 準
<ul style="list-style-type: none"> 各人が分担業務については、年度末に改善を心がけて計画立案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 次年度計画は、自信をもって設定できる。 B. 計画設定は、一応その責任を果たせる。 C. 慣行的で反省しなければならない。
<ul style="list-style-type: none"> 達成期限の明確化を図って、教育活動を展開していくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. それぞれの教育活動は、努力点具体策の達成期限を考えて進められている。 B. 行事等のプロジェクト計画の設定などは適正に進められている。 C. 達成期限やプロジェクト計画がおざなりである。
<ul style="list-style-type: none"> 能率的な情報収集ができ、指導の充実と強化をはかっていくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 望ましい指導のあり方について、意図的に向上を期している。 B. 必要に応じて、指導を受けている。 C. さして関心を持っていない。
<ul style="list-style-type: none"> 研修結果は、つねに自校の教育に生かすように努めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 研修によって得た知識や技術はつねに生かすように心がけている。 B. できるだけ生かすようにしている。 C. 知識だけにとどまり、あまり生かせない。
<ul style="list-style-type: none"> 地域社会との連携に努め、また小学校・高校との一貫性を考えた協力ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 地域社会や小中高の連携がよく図られている。 B. 連携を強化すべく努力している。 C. あまり積極的でない。
<ul style="list-style-type: none"> 機会あるごとに、地域社会と関連をもった教育活動の展開が図れる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 地域ぐるみの教育活動の展開がよく図られている。 B. できるだけ努めている。 C. 意欲はあるが実現されていない。
<ul style="list-style-type: none"> 学校教育とそのあり方について、家庭に認識してもらうよう努めていくことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 学校教育をつねに父母に理解してもらうよう努めている。 B. 必要に応じて、理解を求めている。 C. あまり積極的でない。
<ul style="list-style-type: none"> 父母と一体になった、望ましい生徒の育成をはかることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 積極的に、父母との連携をはかっている。 B. 必要と考えた時は進めている。 C. 与えられた機会のみ、相談を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> 望ましい生活習慣を身につけさせるための、啓蒙的な協力依頼の方策をたて、推進がはかれる。 	<ul style="list-style-type: none"> A. 家庭教育のあり方について、つねに協力を求め、連携を考えている。 B. 機会をとらえては相談を行っている。 C. 意欲はあるが、あまり図ることができない。

（文責 教 頭）